

厳しい寒さと 深い雪にひと苦勞



2月9日 町内排雪風景

例年になく積雪に見舞われ、連日、
除雪作業に追われました。

Kouhou

寿都

-SUTTSU-

3

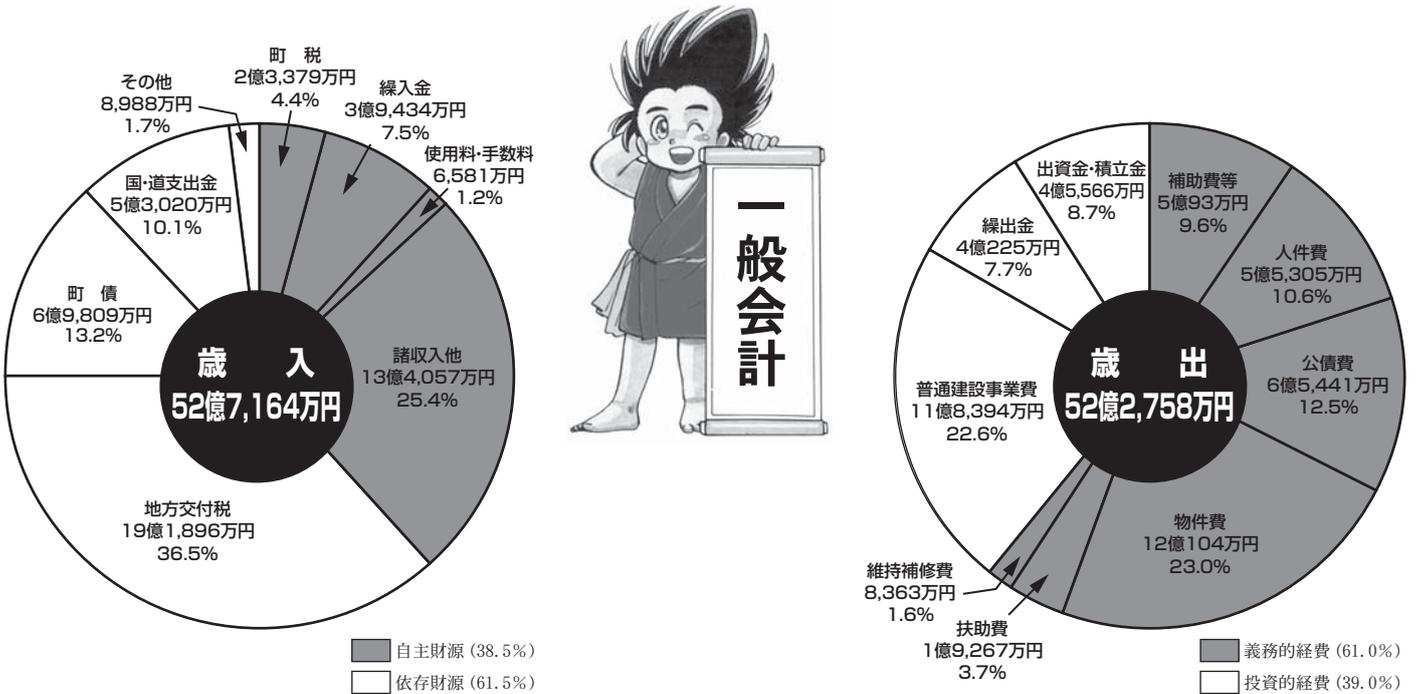
2018 March
No. 680

平成28年度決算のすがた

平成28年度の各会計決算が、平成29年12月の町議会で認定されました。

一般会計の歳入は、町税や繰入金（基金の取崩し等）などを含めた自主財源が38.5%になる一方で、地方交付税や国・道支出金などの依存財源が61.5%と大きな割合を占めています。歳出は、物件費（事務費や施設運営費等）や人件費などの義務的経費が61.0%、普通建設事業費（公共施設の整備費等）などの投資的経費が39.0%になっています。

歳入の依存財源、歳出の義務的経費の割合が高いため、今後も健全な財政運営を図っていかねばなりません。



●各会計決算

(単位：万円)

会計名	歳入	歳出	差引	
一般会計	52億7,164	52億2,758	4,406	
特別会計	国民健康保険	5億1,114	4億8,521	2,593
	後期高齢者	4,648	4,633	15
	介護保険	4億637	3億9,866	771
	簡易水道	1億4,598	1億4,439	159
	公共下水道	2億7,337	2億7,269	68
	風力発電	6億5,477	6億2,704	2,773

●まちの借金 (地方債残高)

(単位：万円)

一般会計	68億6,850
特別会計	23億9,214
合計	92億6,064

※特別会計（簡易水道事業、公共下水道事業、風力発電事業）

●まちの貯金 (基金)

(単位：万円)

基金名	残高
財政調整基金	1億2,928
減債管理基金	1億255
特定目的基金(8基金)	8億8,803
土地開発基金	3,455
国民健康保険事業基金	2
介護保険給付費準備基金	1,540
簡易水道事業基金	43
公共下水道事業基金	20
風力発電事業基金	3億7,489
合計	15億4,535

※特定目的基金

(ふるさと振興基金、人材育成基金、寿都温泉事業基金、地域福祉基金、中山間ふるさと・水と土保全基金、水産振興基金、教育振興基金)

基金は、昨年度と比較して特定目的基金のふるさと振興基金がふるさと応援寄附金で増加しており、基金全体では前年比で約3億5千万円が増加しています。

防災行政無線デジタル化事業や橋本家保存整備事業などで町債の借入を行っていますが、一般会計及び特別会計ともに公債費（借入金の元利支払い等）の償還により、地方債残高は全体で前年比約2億円が減少しています。

原子力防災訓練を実施しました

2月5日に、国・北海道・泊原発周辺13町村・各関係機関による「通信連絡訓練」、8日には、厳冬期初めての「住民避難訓練」を実施しました。

8日は磯谷町能津登から歌棄町美谷地区の住民約70名が訓練に参加し、防災行政無線及び広報車両による避難の呼びかけで「避難行動訓練」を開始、各会館から農村活性化センターへバスで避難しました。活性化センター内では「安定ヨウ素剤緊急配布訓練」、「原子力防災講習会」を実施し、原子力災害への日ごろの備えや、知識の向上を図りました。



札幌医科大学附属病院 放射線部武田浩光副部長による原子力防災講習会の様子

《訓練の概要》

5日

◇災害対策本部等設置運営訓練及びオフサイトセンター運営訓練

後志地方西部を震源とした震度6強の地震と暴風雪警報発令中に泊原子力発電所からの放射性物質放出までを想定して災害対策本部設置訓練を行いました。

また、原子力災害時における情報共有の拠点となる共和町「オフサイトセンター」（※1）に職員を派遣し、災害時における情報収集と周辺町村との電話やFAXにより情報共有手段を確認し、テレビ会議システムにより北海道と後志管内13町村、オフサイトセンターを結んだ会議を実施しました。

※1 オフサイトセンター（緊急事態応急対策拠点施設）とは、原子力施設の緊急事態において、事故が発生した敷地（オンサイト）から離れた外部（オフサイト）で現地の応急対策をとるための拠点施設

8日

◇安定ヨウ素剤緊急配布訓練

俱知安保健所職員と町保健師によるアレルギー等の問診を行った後、安定ヨウ素剤（※2）に見立てたアメ玉を配布しました。



※2 原子力災害時において、町外へ避難するときに国・道・町から「安定ヨウ素剤」が配布される場合があります。服用指示に従い正しく服用することで、放射性物質の一つである「放射性ヨウ素」による健康被害を抑える効果があります。

◇広報訓練・緊急時通信連絡訓練

午前10時に住民避難指示を受けて、防災行政無線及び広報車両による広報訓練を実施しました。

また、通信連絡訓練では、町内の訓練参加（協力）機関への連絡及び北海道現地事故対策本部や北海道電力株式会社と被害状況や住民避難情報を共有する訓練を実施しました。



◇避難行動訓練

磯谷町能津登から歌棄町美谷の各地区会館へ集合し、避難所の農村活性化センターまでバスにより避難しました。



◇避難退域時検査

農村活性化センターへ避難してきた車両の放射性物質による汚染を確認するため、北海道及び北海道電力株式会社の職員による検査を実施しました。

実際の災害時には、車両の検査を経て住民へのスクリーニング（※3）や簡易除染を実施します。



※3 スクリーニングとは、避難所へ向かう住民や車両に対し、放射性物質汚染状況を確認するための検査

災害はいつ起こるかわかりません。

広報1月号で各家庭に配布した寿都町防災マップをご覧ください、避難時の非常持ち出し品リストや避難行動について確認するなどし、災害に備えましょう。

みんなの診療所 No.125

「安全に」「正しく」お薬飲めていますか？



寿都そよかぜ薬局
薬剤師 田村 英俊さん

薬は正しく服用すればとても役に立つものですが、服用方法を間違ってしまうと副作用が出て身体に負担がかかってしまうこともあります。今回は、薬を服用するときに皆さんに気を付けてもらいたいポイントを紹介します。



①薬の量が多いと感じる

薬の数や種類が増えると、1つ1つでは問題がなくても飲み合わせで問題が起こることがあります。また、どんなに効用の高い薬でも飲み忘れなどがあると効果が十分発揮されません。種類が多すぎると感じた場合は処方内容を調整できることもあります。

②多めに処方してもらった薬が家に余っていませんか？

主に風邪薬、睡眠薬、安定剤、下剤、湿布、軟膏、目薬などがその代表です。家にしまってあるうちに期限が切れたり、最初に処方した症状と異なる症状のときに自己判断で服用すると効果がなかったり、副作用が出る場合もあります。医師などにしっかり相談して必要な分だけ処方してもらい、正しく服用しましょう。また、短期間であれば副作用が出る心配がなくても、長期間となると肝臓や腎臓に負担がかかってしまう場合があります。身体の調子が良くなり、止められそうな薬があれば相談してください。

③複数の医療機関、薬局から薬をもらっている

違う名前でも同じ成分、似た成分の薬がたくさんあり、一緒に服用すると、副作用が強くなることや、飲み合わせが問題となる場合もあります。他の病院で処方されている薬が変わったら、必ず申し出てください。薬の種類や数を把握するため、受診のときはお薬手帳を必ず持参してください。

薬のことで気になることがあれば、医師・看護師・薬剤師にお気軽にご相談ください。

町民のみなさんから寄せられた疑問にDr.がお答えする Q&A vol.5

「かかりやすい診療所」を目指して、町民から寄せられた素朴な疑問に医師がお答えします。

Q 診療所で乳腺炎など育児中の体調不良や妊娠に関する事について相談することはできますか？

A 「助産師相談外来」をぜひご利用ください。診療所の助産師が丁寧に相談に乗ります。薬が必要な場合は医師から処方することも可能です。しっかり相談に対応できるよう予約制としていますので、まずはお気軽に診療所までご連絡ください。

退任医師挨拶



江川正規 医師

寿都で1年間診療させていただき、夫婦ともども大変お世話になりました。東京出身の私にとって寿都町での生活はすべてが新鮮で、皆さまから教わることばかりでした。若輩者ですが、少しでも皆さまの健康に役立つ事ができたなら幸いです。

4月からまた新しい医師が着任いたしますので、ぜひ寿都町の素晴らしさをお伝えください。



江川 萌 医師

1年間という短い時間でしたが、たくさんの場面で寿都町のことを一生懸命考えている皆さまと一緒に仕事できたこと、その町で過ごせたことはとても素晴らしい経験になりました。寿都町で学んだことを活かして今後もより多くの方々の健康を支えていきたいと思っています。ありがとうございました。



赤ちゃんから お年寄りまで

寿都町教育委員会
電話 0136-62-2100
FAX 0136-62-2280

みんなが、学びの主人公

ミニ運動会を開催しました

2月25日、総合体育館でさわやか元気広場「ミニ運動会」を開催しました。

幼児を対象とした徒競争や、運営スタッフとして参加した北翔大学生が考案した一風変わった玉入れなど、子どもから高齢者までが楽しめる全8競技を行いました。



子どもたちが一生懸命に走る姿や、大人と子どもが協力しながら競技に挑戦するなど、楽しく元気に運動する機会となりました。

寿都町コミュニティ・スクール交流会を開催しました

2月23日、総合文化センターで「寿都町コミュニティ・スクール交流会」を開催し、各学校の学校運営協議会委員や学校関係者、一般の方など、約40名が参加しました。

これまでの各学校運営協議会の取り組みや、学校支援ボランティアの活動など、学校へ参画する地域の方々の活動が発表されました。

グループ形式で行われた意見交換会では、より良い学校づくりのため、参加者同士がボランティアとして携わった感想や自身の思いなど、積極的に意見を交わしました。





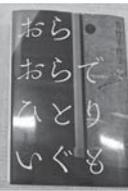
図書館からのお願い

直木賞、芥川賞
受賞作品在庫

- ・随時貸し出ししています。
- ・貸し出し予約も受け付けていますので、図書館までお問い合わせください。



火定



おら
おら
で
ひとり
いぐも

○3月の特集展示のテーマ
「卒業・卒園」

○今月のオススメ

- ・「おらおらでひとりいぐも」
- ・「火定」

夜間スキー教室を開催しました

寿都スキー連盟の協力のもと、夜間スキー教室を開催し、延べ51名が参加しました。

小学校低学年を対象とした「初心者スキー教室」では、1人でロープトウに乗って転ばずに滑れるようになるまで上達しました。

「小学生夜間スキー教室」は、初心者スキー教室に参加した子どもたちも参加し、レベルごとに分けられたクラスで指導を受け、寒さに負けずスキーを楽しみ、技術を磨きました。

中学生以上を対象とした「一般スキー教室」では、子どもとスキーを楽しむため、またスキー検定合格を目指す方も参加するなど、さまざまな目的をもって技術向上に取り組みました。



町民プール臨時休業のお知らせ

町民プールの設備点検及び館内清掃のため、下記の期間を臨時休業とさせていただきます。ご利用されている皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

<休業期間>
平成30年3月19日(月)～
平成30年3月31日(土)

ありがとうございます! 除雪ボランティア



寿都建設協会及び寿都町まちづくり人材育成事業ボランティアスタッフの皆さん

一人暮らしの高齢者世帯を対象に、2月2日に、寿都建設協会及び寿都町まちづくり人材育成事業ボランティアスタッフ

の皆さん、2月15

日には、寿都高校生徒の皆さんのご協力のもと、除雪ボランティア活動が行われました。

例年に比べ2月までの降雪が多く、軒下のつららや、灯油タンク廻りなどたくさんの雪が積もっていました。スノーダン



寿都高校生徒の皆さん

プやスコップなどを手に、一生懸命、除雪活動をしてくれた皆さんのおかげで、住宅周辺の雪はすっかりなくなり、高齢者の方々は大変喜んでいました。

除雪ボランティアに参加いただいた皆さん、本当にお疲れ様でした。

保育園 茶道体験

2月6日、小学校入学を控えた年長組を対象に、礼節の大切さや集中力を養うことを目的とし「茶道体験」を行いました。

講師に茶道愛好会の皆さんをお招きし、「総礼」とよばれるあいさつやお茶の飲み方を教わりました。

園児は実際に立ててもらったお茶を飲み、苦みの中にもほんのりと甘さや風味を感じ、普段はなかなかできない貴重な体験となりました。また、終始正座で落ち着いて講師のお話を聴くことができました。



「寿都町と日本郵便株式会社寿都町内郵便局との包括的連携に関する協定」を締結しました

3月1日、「寿都町と日本郵便株式会社寿都町内郵便局との包括的連携に関する協定」を締結しました。



この協定は、配達業務中の郵便局員が高齢者の見守りや道路損傷・不法投棄などの情報提供すると共に、子どもから高齢者までだれもが安心して快適に暮らせるまちづくりの推進に取り組むものです。

子育て講座「救急講座」を開催しました

2月6日、子育て支援センターで、寿都消防署職員を講師に、子育て講座「救急講座」を開催しました。

参加したお母さん達は、いざというときに備え、心臓マッサージやAEDの使用方法について学びました。実践練習を交えた講座に、参加者は真剣な表情で取り組んでいました。



保育園 節分

2月2日、寿都保育園で節分の豆まきを行いました。突然の鬼の登場に、びっくりして逃げ回ったり、怖がって泣き出した園児もいましたが、「鬼はそと!」と大きな声をあげながら、みんなで力を合わせて鬼退治に臨んだ他、当日は給食でも節分にちなんだメニューをいただきました。



寿都町まちづくり人材育成事業 ボランティア講演会を開催しました

2月22日、道の駅みなとま～れ寿都でNPO法人旧小熊邸倶楽部代表の東田秀美さんをお招きした「ボランティア講演会」を開催しました。

約30名の方々にお越しいただき、「ボランティアって、どんなこと？何のためにするの？」をテーマに、より良い地域社会を創っていくためのアイデアや社会の役割などについてお話をいただきました。

町では、町民の皆さんに特技や余暇時間を活かした環境や観光、社会教育、地域支援などの事業をお手伝いいただく「人材育成事業ボランティアスタッフ」を募集しています。多くの方々のご参加をお待ちしています。

【企画課企画係 62-2608】



温泉・道の駅通信 No.60

例年にないほど雪かきに追われた寒く長かった今年の冬がもうすぐ終わります。春は穏やかな天気が続くことを期待しましょう。

道の駅みなとま～れ寿都では、2月から新作メニューの「海の幸のナポリタン」を販売しています。寿都産のタコやイカなどをはじめ季節によって旬の食材を取り入



れ、小さなお子さまも大好きな甘めの味付けに仕上げました。子どもたちをはじめ多くの方々に食べていただきたいので、ぜひ、ご家族でお越しください。

寿都温泉ゆべつのゆでは、2月恒例の人気企画、あったかいおしるこの販売を実施しました。2月は寒い日が続いたこともあり、あつあつのおしるこは大人にも子どもにも大人気でした。

2月16日、寿都商工会青年部主催の「すつつはしご酒ラリー」が開催され、道の駅みなとま～れ寿都も参加店とさせていただきます。当日は天候に恵まれ、それぞれのお店では、参加者の楽しそうな笑い声が



たくさん聞こえていました。道の駅みなとま～れ寿都を会場とした抽選会では、町内で使える商品券の

ほか、現金や豪華賞品が用意され、番号が読み上げられるたびに歓声上がり、大盛況で幕を閉じました。

あっという間に1年が過ぎ、新年度が始まります。4月からはまた新たな気持ちでお客さまをお迎えしたいと思っていますので、皆さまよろしくお願いたします。

イベントスケジュール・お知らせ

●ゆべつのゆプレミアム抽選会のお知らせ

寿都温泉ゆべつのゆでは、日頃よりご愛顧いただいているお客さまへの感謝の企画として、寿都温泉ゆべつのゆで使える商品券やお食事券などが当たる「プレミアム抽選会」を開催します。

ゆべつのゆのポイントカードが満点になった際にお渡ししている抽選券をお持ちになって、ぜひ、寿都温泉ゆべつのゆへお越しください。

- ◇期 間：3月20日(火)～31日(土)
- ◇抽選場所：寿都温泉ゆべつのゆ フロント

●4月から、道の駅みなとま～れ寿都の営業時間及び休館日が下記のとおり変更となります。

- ・営業時間 午前9時～午後6時(4～9月)
午後9時～午後5時(10～3月)
- ・休館日 無休(4～9月)
第1・第3月曜日(10～3月)
年末年始

変更にともない、皆さまにはご迷惑をお掛けしますが、ご理解の程よろしくお願いたします。

寿都町観光交流センター「みなとま～れ寿都」

- 住 所：寿都町字大磯町29-1
- 電 話：0136-62-2550
- E-Mail：eki@suttufan.com
- 開館時間：9:00～17:00
- 休 館 日：毎月第1月曜日
- H P：http://suttufan.com/

寿都温泉ゆべつのゆ

- 住 所：寿都町字湯別町下湯別462-1
- 電 話：0136-64-5211
- 開館時間：10:30～21:30
- 休 館 日：毎月第1月曜日
- H P：http://yubetsunoyu.com/

すくすく1歳です

3月生まれ



鳥居 茉ちゃん
(13日生まれ)

(矢追町) 淳さん
理恵さんの子

たくさんの方の愛情を受けて大きくなった茉ちゃん。これからも笑顔で元気に育って行ってね!



櫻井 優吾くん
(30日生まれ)

(新栄町) 隆丞さん
美穂さんの子

ゆっちゃん1歳おめでとう! この1年ずっと寝ていたのにあつという間に笑って食べて歩くんだね。ゆっくり大きくなって、遅い優しい男の子になってね!

4月から大型ごみの収集が始まります

大型ごみは、毎年4月から12月まで年9回収集します。収集を希望する方は、収集日の1週間前までに、町民課衛生係へ申し込みください。

申し込みのあった世帯に、直接回収に伺いますので、ごみステーションには出さないでください。また、指定シールには、住所・氏名を記入し、見えやすいところにはがれないよう貼ってください。(はがれそうな時は、テープなどを使い、留める工夫をお願いします。)

【町民課衛生係 電話0136-62-2523】

●大型ごみ収集日程表

収集地区	収集日
政泊・矢追・大磯	第1月曜日午後
開進・岩崎	第2月曜日午後
新栄・渡島	第3月曜日午後
六条・樽岸・湯別・歌楽・磯谷	第4月曜日午後

戸籍の窓口

人口 3,043人 (-5) 世帯数 1,719世帯 (-3)
男 1,482人 (+1) 女 1,561人 (-6)
(平成30年1月末現在住民基本台帳)

~ごめいふくを お祈りします~

新栄町 山下スツエさん (2/3) 99歳
矢追町 田中フミエさん (2/17) 91歳
矢追町 佐藤 正明さん (2/20) 81歳

なだれや落雪に注意

3月を迎え、降雪量は少なくなり、冬の厳しい寒さもやわらいで春の足音が聞こえる季節となってきました。

しかし、気温の上昇で注意が必要なのが「なだれ」や「落雪」です。

屋根の雪下ろしや、落雪による事故で、毎年、命を落としたり怪我をする方がいます。気温変化に注意すると共に、屋根に上がる際は命綱を着ける、軒下に入らないなど、事故にあわないように気を付けましょう。



短歌

標を履き孫通学の道をふむ

吹雪く陣屋の姑の姿よ

石橋

典子

一湾の寒風の来て沖に見ゆ

船影二つ三つのなるかも

中村

昭風

「皆既月食始まるよ」との娘の電話

空は生憎雪雲の中

志田

妙子

黄金の舞へ誘う羽生君

心揺さぶる王者の姿

亀谷

セツ

(老人クラブ短歌)

ゆめぴりか今年米とて手にすくい

床にこぼせし米粒拾う

松沢

スミ

俳句

朝早し車はげしや二月来る

目眩きて一週間の冬篋り

はたはたの飯寿しの味の小箱かな

積雪に念入り確認国道へ

立春や冬將軍の居座りて

雪明り鎖の如く歎道

(老人クラブ俳句)

今日明日と座りしままに夜半の冬

松沢

スミ

遠藤

紀子

亀谷

セツ

志田

妙子

中村

昭風

石橋

典子

林原

節子



ふる里文芸